

保健室だより

平成27年度第29号 千葉県立千葉南高校保健室

超ブラック企業(?)の求人募集 ~以下は応募者と面接官のやりとりだよ~

面接官：まずは仕事の内容からお伝えします。これはとても重要な仕事です。役職は現場総監督です。でも実際はこの役にとどまりません。仕事上の責任は広範囲です。あなたが任される役職はとても流動的です。さらにほぼ全ての時間、立っているか屈んだ姿勢で作業し、とても体力を必要とします。

応募者A：わ…わかりました。 **応募者B**：大変そうね。 **応募者C**：何時間くらい？

面接官：基本的に週7日、毎日24時間です。 **応募者D**：でも、途中で座ったりできるんですよね？

面接官：休憩時間についてですか？ **応募者D**：はい。

面接官：休憩時間はありません。 **応募者E**：それは合法なの？

面接官：もちろんです。 **応募者E**：ランチは？ **面接官**：ランチは全ての同僚が食べ終わった後です。

応募者A：それはちょっとひどくない？ **応募者F**：そんなのおかしいわ。

面接官：この職位は交渉力と交際力が求められます。そして私たちが必要としているのは、医学と金融学と栄養学に通じている人物です。複数の役職を兼務することが求められます。

常に周りに注意を払い、時には同僚と徹夜ということも。一睡もすることなく、大変な仕事をするのですから、あなたのプライベートな時間も諦めてもらいます。事実上、休みなしです。クリスマス、正月などでは、仕事量がもっと増えます。やりがいのある仕事でしょ？

応募者G：ひどい話。笑えないジョークだわ。 **応募者D**：寝る時間は？

面接官：ありません。 **応募者H**：なんでもやらされるってこと？

面接官：そういうことです。 **応募者F**：1年365日？

面接官：はい。 **応募者F**：非人道的よ。 **応募者G**：狂ってるわ。

面接官：あなたが作る人間関係や同僚を助けるといったことは、お金に換算されません。給料ですが、この役職で得られる給料は[0]です。

応募者D：なんだって？ **応募者F**：信じられない。ただ働きってこと？

面接官：ボランティアのような感じで完全無給です。 **応募者たち**：ありえないわ！

面接官：もし私が、現実に今この職についている人が、数十億人くらいいると言ったら？

応募者C：そんな人いるの？いったい誰？

面接官：お母さんですよ。

応募者I：その通りだ、すごい！ **応募者H**：お母さん最高！

応募者G：お母さん、ありがとう。ありがとうなんて言ったことがなかったけど、本当に本当に、心から感謝しています。

応募者F：ママ、ありがとう。ママがしてくれたこと全てに。本当にどんな時だって、いつも傍にいてくれた。私のママは最高だわ！

これは母の日に向けて作られた「この世で最も過酷な仕事を紹介した動画」のセリフの抜粋なんだ。

卒業の日を迎える3年生。祝福を受ける主役はキミたちだ。だけどそういう日だからこそ、自分一人では何もできなかった赤ちゃんの時から、いつも一番にキミのことを気にかけて、慈しみ支え育ててくれた大切な人たちに想いを馳せてみてほしいと思う。小学校の卒業式の日「帰ったらお家の人に、ここまで育ててくれてありがとうございますって、正座して言うんだぞ！」って担任から言われた。夜までもぞもぞしていたけど、結局言えなかった。以前勤務していた学校の子が、高校最後のお弁当の日「毎日のお弁当作り、本当にありがとうございました」ってお母さんに手紙書いてきたんだよって教えてくれた。その学校の子の多くは大学進学はしない。だけど人として大事にすべきことを知っていた。きっと素敵な大人になってるんだろうなと思う。